

希望



千代田中部小学校 6年
ゆずりは こころん さん

私の好きな漢字

私がこの漢字を選んだ理由は、もうすぐ中学生になるので、何事にも希望をもって取り組みたいからです。
この字は、とめ、はね、はらいに気をつけて、心をこめて書きました。
中学生になっても勉強や部活をがんばりたいと思います。

◆◆◆ 文芸コーナー ◆◆◆

◆俳句（ひしの実句会）

忘れじの君のうなじや夏薊 なつあきみ

香月富士雄

涼風の老体包み通り過ぐ す

牟田口則子

紫陽花の あじさい

絵となり句となる雨の中

井上 豊美

うとうとと

眠れぬままよ雨蛙 あまがえる

田原 静子

梅酒瓶夫在り日の日付かな つま

畑石 勝子

蛭狩遙かなる日の父と母 はるか

牟田 鶴美

◆川柳（あおば会）

人間が一番怖いこの世界

眞島 永治

肩書きは

捨てて世界に感謝せよ

柳郷 勝吉

老害は

害ではないぞ老いの知恵

島 信秀

ストレスの

捨て場になれば聞いてやる

佐藤久仁子

落ちゆくは

気力・脚力・記憶力

眞島 壽子

悪い事隅に寄せて通る道

前田 久子

あみ棒で

おしゃべりばかり女子の会

馬渡 栄子

散歩中

よく見りや子犬主導権

吉岡 明美

◆短歌（神埼短歌会）

目覚めれば

予定あれこれこなさんと

起き出したるに体うごかず

田中 と代

杖ついて

三月ぶりスーパーに

人の往来これが日常

羽野 智子



人のうごき【令和8年6月末現在】

- 人 □：29,804人
(対前月-12人)
(男性/14,372人 女性/15,432人)
- 世帯数：12,722世帯
(対前月+5世帯)



今月の納期

- 市県民税（2期）
 - 国民健康保険税（3期）
 - 浄化槽使用料（6～7月分）
- ※使用人数の確認をお願いします



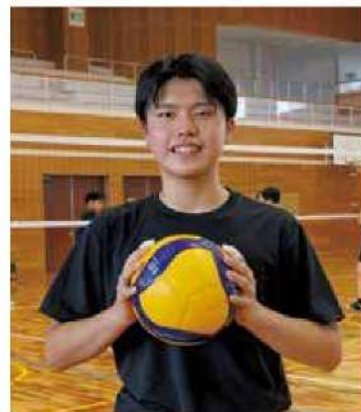
市の広報番組

- 「よかね神埼」
ぶんぶんテレビの14分番組
月・火・木・金・日曜日
12：30～、21：30～
※番組編成により放送時間が変更になる場合があります

神崎のまちで、
きらりと輝く活躍をされている
方達を紹介します。

選手も審判も、どちらも本気で。

―県初！中学生のC級審判員に―



神崎中学校3年生
バレーボール部
佐保 鳳志郎 さん

神崎中学校バレーボール部でセッターとして活躍する佐保鳳志郎さん。小学2年生のとき、父・浩介さんの影響で脊振のクラブチームに入り、以来7年以上競技に打ち込んできました。「トスで相手のブロックを翻弄したり、仲間との連携プレーがうまく決まったときが一番楽しい」と語る、頭脳派プレーヤーです。

そんな重みを知ったからこそ、笛を持ってコートに立つときは、集中力を切らさないよう心がけているといいます。

「いつか春高バレーの舞台でも笛を吹いてみたい」と目を輝かせる佐保さん。「何かスポーツをやっている人は、ぜひ審判資格に挑戦して、支える側の面白さも味わってほしい」と、エールを送ってくれました。

ラインジャッジの姿でした。「誰も気がついていないラインの踏み越えを見極めてジャッジする姿がめちゃくちゃカッコよくて」その一場面が、審判資格への挑戦を決意させました。B級資格を持つ父のアドバイスを受けながら、昼休みも惜しんで勉強する日々。細かい反則規定まで徹底的に頭に叩き込み、昨年10月、県内の中学生として初めて全日本バレーボール協会公認のC級審判員資格を取得しました。資格を取ってから、試合への向き合い方も変わりました。「以前は、審判の判断に感情が荒ぶることもありましたが、今は難しさがわかるので、冷静になりましたね」一つの判定が試合の流れをガラッと変えることもある。



市長コラム

地道な挑戦

私は、いつも「地道な挑戦」を意識しています。その挑戦が、更なる成長、発展に繋がると考えているからです。

去る7月18日、水の郷再生市民会議主催の「馬場川親水公園清掃活動」に参加しました。この活動は、平成7年3月に旧建設省から旧神崎町が「水の郷」として認定されたことを踏まえ、いまだ一度、水の郷の再生に取り組もうと始まったもので、今年で6回目になります。

今回、私は胴長を着用し、馬場川に入って水草を除去することに挑戦しました。もちろん、皆さんの足手まといにならないように気を付けながら、除草作業を通して、「繁茂している水草が外来種であること」、「水草の除去により水が流れ出し、悪臭が無くなり、水辺環境が改善されたこと」、そして何より「多くの方が馬場川の水辺環境を心配しておられたこと」などを知らることができ、とても達成感があり、これからも馬場川の水辺環境改善に努めていきたいという気持ちが強くなりました。

また、7月14日、在京都フランス総領事館主催のイベントに初めて参加しました。目的は「赤い翼プロジェクト」の紹介を通して、脊振の方々がアンドレ・ジャピエ



神崎市長
実松 尊徳

さんを救助した人道的行動を伝えるためです。会場内を話をしながら回ってみると、予想に反して「知っている！」という方が多くいらっしゃったことに大変驚きました。昨年、大阪万博の会場で話をさせていただいたことが、少なからずそうした反応に繋がったようです。「赤い翼プロジェクト」の普及啓発は時間がかかると思いますが、これからも脊振の方々の人道的行動を、あわせて神崎市の魅力を広めてまいります。

地道な挑戦は直ぐに結果に表れるものではないかもしれませんが、これからも、神崎市の発展に繋がることを信じて、職員と一緒に地道な挑戦を繰り返してまいります。

市長交際費の公表

令和8年6月分

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	0	0
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	2	12,963
計	2	12,963